



力をあわせましょう 今くらしと経済を 立て直す政治へ

日本共産党

傍聴席を埋めつくし、審議を真剣にみつめる市民（4月の川崎臨時議会）

市民と中小企業・商店街が 元気になる「条例」を川崎で

8万人こす直接請求の力で
臨時市議会が開かれました
戦後最悪の不況で大変な状況にある市内経済、全企業数の
の九九%を占める中小小工業は、地域の暮らしとつながっ
ているだけに、その深刻な冷えこみは、市民みんなの大問

「安心して働き、住みつけられる川崎へ、いまこそ地域
経済振興条例を」と広がった直接請求運動は、一カ月間に八
万一千人をこす有効署名が集まり、条例案を審議するため
の臨時議会が四月におこなわれました。
二十一年ぶりに市民の運動が開かせた議会です。

●条例案は市長の与党につぶされましたが…

今後の施策につながる多くの前進

「生活・福祉に密着した
事業は経済波及効果が
期待できる」と財政局長

る事業は様々な経済波及効果が期待できる（財
政局長）と初めて認めました。
条例案は、各党とも中小小工業者の深刻な現
状を認める点では一致しながら、結局、市長の

意見に同調した与党（自民、民主・市民連合、
公明、市民同志会、ネット）の反対で否決さ
れました。しかし、運動が無駄になつたわけ
ではありません。

市内の中小小工業を「地域経済の主役」に位
置づけて経営基盤を強化すること、中小企業の
仕事を増やすこと、従業員の雇用の安定と福祉
の増進などを求めた条例案は、多くの中小企業・
建設業者が切望しているもの。
ところが高橋市長は、臨時議会の招集にあた
って、いまの市の施策で十分、条例の制定には
賛成しかねる、などという意見書を付けるとい
うひどい態度をとりました。
しかし、多くの傍聴者が見守るなか、臨時議
会（市民委員会）の審議で経済局長も、これま
での市の取り組みの不十分さを認めざるをえな
くなって、下記の施策などを約束。また、従来
どおりの大規模事業を推進する態度を示しつつも
市として「福祉部門をはじめ市民生活に密着す

市民の運動で具体化させましょう
臨時議会で経済局長が約束した主な施策

- 1 小規模をふくめ商店街への
支援策を強める。
- 2 現在の産業振興協議会を実
態に見合うものに改善する
ための検討を行なう。
- 3 建設業の産業政策における
位置づけを重視し、施策を
検討する。
- 4 農業振興策を拡充する。
- 5 中小企業の現場と生の声を
大切にされた実態把握・調査
に努める。

「川崎の地域経済を
どうするのか」
を初めて真正面から提起
経済・産業政策について真正面から議案と
して議論したのは川崎市議会でも初めてのこ
「地域経済」をテーマにした直接請求による臨時
議会は、全国の政令市の中でも初めてですが、「こ
の危機をどう打開するのか、いま市がやるべき
ことは…」の論議がたたかわされました。
市民のみなさんの声と運動こそ市政を動かす
原動力。このことが、みごとに証明されたとい
えるのではないでしょうか。

国政では

家計を直接あたたためる 消費税の減税など

日本共産党が「3つの転換」を提唱

「いま何よりも大事なことは、政治のかじ取りを、
家計をあたたためる」方向に切りかえることではな
いでしょか。日本共産党は、消費税減税などの「緊
急経済提言」を発表しました（左）。

もたらすことはまちがいありません。また、相次
ぐ福祉切り捨てや失業・リストラが、老後や雇用
の不安を増やし、サイフのひもをますますきつく
している原因ですが、いまこそ、こうした不安を
とりのぞき、家計消費をあたたためることを政治の
第一の仕事にすると
いうのが、日本共産党
の提案です。



- 1 消費税を緊急に3%に引き下げ
国民の購買力を直接応援する
- 2 社会保障の連続改悪を凍結し
将来不安をなくす
昨年と今年の介護・老人医療・年金の
改悪で年間3兆円もの負担増
ストップを
- 3 リストラをおさえ、中小企業
の支援を強めて、雇用危機を
打開する
違法なサービス残業をなくすだけで
90万人の雇用拡大。国民的大運動を

同時に、公共
事業に五〇兆円
社会保障に二〇
兆円」の逆立ち
した税金の使い
方をあらためる
ことです。そう
すれば、景気回
復もはかりなが
ら、財政再建も
すすめることが
できます。

問われて いるのは… 政治の中身を どう変えるか、です。

「いまの自民党はダメ」といって誕生した小泉首相
ですが、深刻な不況からの打開策や展望は何ひとつ示
さず、「改革」の中身は、不良債権処理、社会保障の
切り下げ、郵政民営化…。これでは「強きを助け、弱
きをくじく」政治をい
っそうひどくするの
ではないでしょうか。
ゼネコン・大銀行を
応援する政治から、国民の暮らしを応援する
政治へ切りかえること
こそが、いま求められ
ているのではないでし
ょうか。
日本共産党はこのこ
とを、みなさんに心か
ら訴えています。



参院神奈川選挙区
むねた 裕之
党県政策副委員長 宗田ひろゆき

「強きを助け、弱きをくじく」政治をいっ
そうひどくするの
ではないでしょうか。
ゼネコン・大銀行を
応援する政治から、国民の暮らしを応援する
政治へ切りかえること
こそが、いま求められ
ているのではないでし
ょうか。
日本共産党はこのこ
とを、みなさんに心か
ら訴えています。



齊藤たかし 市村ごろう 石川けんじ 宮崎みつお 石田 和子 市古てるみ 佐野よしあき
市会議員（多摩区） 市会議員（多摩区） 市会議員（宮前区） 市会議員（宮前区） 市会議員（高津区） 市会議員（中原区） 市会議員（川崎区）

「共同で成立を」と奮闘した日本共産党 市民のみなさんと力をあわせ ます

「ぜひ各党が共同して条例を成立させま
しょう」。臨時議会で日本共産党は、直接
請求運動の重みを正面からうけてとめて、条
例案の成立めざし市議会各党派にも呼びか
けて全力でがんばりました。
ひきつづき、日本共産党は市民のみなさ
んと力をあわせ、「地域経済を元気にする市政」
をつくるために全力をつくします。

日本共産党川崎市議員団



徳竹きよし ちくま幸一 宮原 春夫
市会議員（中原区） 市会議員（幸区） 市会議員（川崎区）
西村 英二 西尾りえ子 岩田サヨ子
市会議員（高津区） 市会議員（幸区） 市会議員（川崎区）
石田 和子 市古てるみ 佐野よしあき
市会議員（高津区） 市会議員（中原区） 市会議員（川崎区）



日刊紙/月2,900円
日曜版/月 800円
お申し
込みは

川崎区 (233)3571
幸・中原区 (544)7151
高津・宮前・多摩・麻生区 (911)9402
日本共産党川崎市議員団ホームページ
<http://www.jcp-kawasaki.gr.jp/>

ぜひ裏面もごらん下さい

3月予算議会・4月臨時議会からのご報告

第148号(市議会報告版)2001年5月
日本共産党川崎市議員団
日本共産党川崎市委員会
川崎市川崎区榎町6-5-001 (211)3731

